

子育て支援策は

◎ 子育て支援事業を予算化



中原 信男 議員

よう、よその町とは一味違ったものに取り組んでいきたいと思えます。

若者定住は、婚活で

議員 若者定住で、若者を通じた地域間交流、男女の出会いの場の創出が非常に大切だと思います。

日野町の縁起のよい、オシドリ、金持神社を活用した、

出合いイベントをやってみてはどうですか。

町長 結婚は人生の大きな岐路であり、役所がかかわることとは難しい問題ですが、婚活支援は非常に大事なものだと思えます。

民間の団体に行政が支援していくのが一番いいと思います。

議員 子育て支援として、保護者の経済的な負担軽減を図る為、保育料の軽減策を考えるとはどうでしょうか。

国の動きも、幼児に対し、無料化に向けて動いていきま

す。
町長 町長の考えを伺います。
経済的負担の軽減として児童手当、児童扶養手当の現金支給に加え、新たに1歳から3歳までの保護者に対し3万円支給する子育て支援事業を予算に計上しました。

保育料の減免など家計が楽になるよう努めています。
国の子育て支援策も変わってきます。

日野町は子育てがしやすい



ひのっこ保育所

高齢者に対する支援事業は

議員 高齢者に対する支援事業、特に町内における老人クラブ活動費助成金交付要綱を改正し、交付金を増すことにより、地域のつながり、支え合い運動も活性化すると思えます。県の補助金も有効に活用してはどうですか。

町長 老人クラブの活動は重要と考えていますが、補助金を増額することは活動を強いることにもなり自主性を尊重し、今のところ、補助金の充実、要綱の改正までは考えて



グラウンドゴルフを楽しむ

いません。
ただ、町としては、積極的に生きがい求めて、活動している団体に対しては、きちんと支援していかねばならないと思っています。



小谷 博徳 議員

人口減の施策は

答 要因は国策



森林資源を生かしたシイタケ栽培

議員 過去30年間平均して、78人の人口の自然減となっております。47年後には限りなく人口ゼロの町となります。

町長 人口減の問題は、若者がいない。子どもが産まれない。高齢の方が亡くなってゆくそれだけのことです。国が地方に住めるような発想の転換を行うべきで、一自治体の問題ではないと思っています。

若者定住施策に重点を

議員 施政方針にある「子供の声が聞こえる町づくり」を具体化するためには、若者をこの町に呼び込むことが必要だと思っています。

町長 Iターンで来ている人はありがたいと思います。

しかし、20年住み続けていただける保証はありません。国や県の補助事業も瞬間湯沸かしの過渡性であります。

議員 慶応大学生との交流事業に20万円がついています。この学生たちに交流を通して、限界集落が生き残れる。地域社会を支えてゆくことができる。そのため研究を当然やっていただく20万円であると思います。

町長 それは私たちの願いでもあり、大学の中島教授も日野町の現状認識、中山間地の問題点を考えておられるので、20万円の投資は大きなお返しがついてくるものと信じています。

議員 町長はこの町に来る人があつたら、それぞれの考え等を聞き、どういう支援策ができるか考えたい、といわれるのが消極的手法だと思えます。私は、「日野町で農業をやってみませんか、林業の仕事をしてみませんか」そういう情報を町が発信して、来た人により詳しく現状を話し理解を深め、若者定住を進めていく。これが町の施策であると考えています。

ここで攻めの姿勢を持たなかつたら、40年後には町としての体をなさなくなることを

攻めの町政を

心配していますが、いかがですか。

町長 町長が何でも先頭に立つて行う、そういうまちづくりをしてもいけないと言っているのです。町民全員がこの町を作っていく。魅力ある町を全員でつくっていく姿勢に共鳴を生むと思っています。



Iターン者の農作業の手伝い

板井原川の氾濫防止対策を

答 県に要望、事業化へ



松本 利秋 議員

議員 「備えあれば憂いなし」という格言がありますが、根雨上町付近の（おしどり荘の裏）板井原川は、以前にも増して土砂が堆積して河床が上がり、大雨が降ると危険な状態になっています。

議員 氾濫防止対策及び早急な堤防の嵩上げ工事が必要と思われませんが、どのようになっていますか。

町長 一昨年の台風による豪雨により、増水のため一部堤防が壊れ、もう少しで氾濫するのではと心配しました。

管轄の県に対して強く要望しました。現地調査の結果、重点整備地区に指定され、25年度に事業化し測量、設計に入り、26年度に単県事業で工事が進められる予定になって

います。

議員 防災に関連し、「わが町支え愛活動支援」が予算措置されています。24年度にこの事業を町社会福祉協議会で実施されましたが、成果をお聞かせください。

町長 黒坂地区自主防災会など4団体が実施され、防災マップの作成、避難訓練、車椅子などを購入をされました。

災害時に自分たちの身は自分たちで守る意識が重要であると考えており、この事業の成果は大きいと思います。

議員 この事業は1地区（上限10万円）の助成で5件をみておられますが、もっと予算を付け、計画と備えを整備してはどうですか。

町長 社協の募集段階で、予算枠を超える申し込みがあるようであれば、改めて検討してみたいと思います。



タブレット端末

インターネットの普及を

議員 スマートホンやタブレット端末が普及していますが、若者に魅力あるまちづくりとして、これらが容易に購入できる施策（補助）を考えるとどうですか。

町長 携帯電話が使えるように町は投資しましたが、利用については皆さんで考えて頂きたいと思います。購入補助は今のところ考えていません。

議員 スマートホンやタブレット端末は、福祉、産業の面で有効な武器になると考えます。

日野病院では、スマートフォンなどで診察順番が見られるようにしています。

この新しい機器を使ったインフラの整備を研究されてはどうでしょうか。

町長 行政としてやるべき部分については、しっかりとやっていきたいと思っています。



板井原川の危険箇所



中原 明 議員

国に準じたラスパイレス指数に

答 長期間減額している

議員 政府は、地方に7月以降国家公務員並みの給与カットを要請し、地方交付税を減らしましたが、本町の影響額は、いくらですか。

町長 442万円程度が想定されます。

議員 本町は、長期間職員給与を減額しており遺憾であります。ラスパイレス指数は、国の減額後、県平均は104割です。若桜町は98割、本町は101割となりました。

議員 指数から考えて、国の要請で倉吉市は、引き下げをするようです。

町長 退職金、給与支給率引き下げを考慮されませんか。

町長 町長15割、教育長8割カットを継続します。職員も退職手当は減額となります。

議員 国は24年度大型補正予算、25年度積極的大型予算を編成しましたが、有利な補助事業等情報を素早くキャッチして対応されませんか。

町長 補正予算では、本町に該当する事業はありませんでした。使い勝手のよい事業があれば検討していきたいと思っております。

議員 保育料の軽減について伺います。境港市は9.3割引き下げをされます。近隣の南部町、伯耆町と比

較して本町は西部の町村の平均といながらも安くはないのが、現状です。

町長 保育料を値下げすれば、若者定住、子育て支援の相乗効果があるのではありませんか。

議員 見直しの考えはありませんか。

町長 高い方を見ず、安い方を見るべきです。仮に10割引き下げても年間93万円程度の負担増です。再考を求めておきます。

議員 経常収支の見直しは、何をどう見直しますか。

町長 人件費など見直しをしてきたので、業務内容を考え、メリハリのある予算執行で対応します。

議員 町のやるべきこと、住民の自助努力を明確にして、バランス感覚を大切に進めたいと思います。

町長 経常収支比率は、日野町86割、智頭町は78割です。

議員 人件費は、日南町17割、本町20割、他町は13割の所もあります。どう思われますか。

町長 経常収支比率80割に向けて強い決意で取り組みたいと考えています。



ひのっこ保育所

予算とビジョンの関連は

◎ 新しい視点 検討する



安達 幸博 議員

議員 まちづくりビジョンで、若者定住の中の、この課題を
実行するために予算化したな
どの関連付けた考え方が必要
ではありませんか。

町長 ビジョンは、5年間の
指針として策定しました。
「きらりと光る」に磨きをか
けるため、創意工夫を凝らし
予算編成をしました。
ビジョンに照らして、この
項目では、この予算で将来の
方向はこうです。という予算
の組み方はしていません。
ビジョンが、実効性あるも
のとして進むには、指摘の視
点は、新たな取り組みとして、
今後検討します。



配布された日野町ビジョン

議員 総合計画を策定するか
らと、町民の皆さんから意見
を募集されました。
総合計画は、基本構想、基
本計画、実施計画から構成さ
れており、議会は必要性を訴
えてきました。
しかし、策定されたのは、
ビジョンでした。
ビジョンを達成するための
施策を表す基本計画がないの
で、施策が突発的にでてくる
印象を持ちます。
ビジョンに照らしこのよう
な施策を考えているなど丁寧
な説明をされ町民と共有する
取組みを望みます。
町長 個別的にこの施策が、
ビジョンのここですとは、す
ぐにはできません。
ビジョンを達成するために、
予算が伴わないものでもビジ
ョンに添って推進しています。

議員 病院職員用住宅建設に
伴い土地の提供、ワンルーム
住宅の建設、民間の職員住宅
建設支援など、定住政策が推
進されています。住宅建設の
土地提供、貸付は、公平制が
担保されていますか。
町長 本町にある職場にお勤
めの方に、住んでいただけ
場の創出への協力で、住宅確
保が、商業ベースのものでな
く公平性の議論はなじみませ
ん。
議員 それぞれの支援策を尋
ねます。
総務課長 日野病院組合には、
土地を無償貸与、老健施設の
職員住宅は、土地の有償貸与
で減免をしています。



土地貸与による、介護施設職員住宅建設

議員 無償と減免の違いの基
準、根拠はありますか。
町長 どちらも若者定住施策
の一環です。
議員 ならば、どちらも無償
でいいではありませんか。
本町にお勤めの方で、他の
住居に住んでいる場合、若者
定住施策の恩恵を受けません。
その支援策の考えを聞きます。
町長 政策的にマッチするな
らば、調査の上、今後の検討
課題と考えます。



梅林 智子 議員

ワクチンで死亡例も

答 副作用の説明しています

議員 中学の入学からワクチンとして接種を勧められている子宮頸がんワクチンについて伺います。英国製のサーバリックスワクチンは、死亡や重い後遺障害、副反応が報告されています。（厚労省のホームページに記載）この事実は本人保護者に適切に伝えられていますか。

町長 厚労省のガイドラインに従って、副反応の説明文を送付し同意書を取って当日医師からも副反応の説明をしています。

議員 サーバリックスは劇薬であり、効果も十分に立証されていない。効くかどうか判らないとあります。万一の被害にどう対処するのですか。

健康福祉課長 西部町村会・医師会等で事故調査し、更に国の審査会で審議されます。

町の責任が認められれば全国町村会の損害保険から給付金がでることになります。

誕生日祝い金3万円

議員 町民の宝、可愛いお子さんの誕生日祝事業に120万円。一人当たり3万円の受け渡し方法・使い道などどう考えておられますか。

現金給付ではなく子育てク

ーボンとして町内のみ使えるとか、保育料の支払いに使えるよう工夫が必要と考えます。
町長 子どもの為に使って欲しい思いで、私が直接誕生日にお届けしたいと考えています。

保育所57日目からの受け入れを

議員 日野町をキラリと光る町にするために、イターン・Uターン・シングルマザーの為に、安心して子どもを産み育てられるように、産休終了後すぐ、保育園に預けられる体制を整えることが必要で

はないでしょうか。

例えば農業においても、介護業務においても女性の力が十分生かされることが、欠くべからざるところです。生活を続けていくためには、仕事を続けなければならぬ場合もある訳です。病後児保育・一時預かり・おひさま広場等、確実にと行える様人員を配置して頂きたいと考えます。

町長 乳児は親がみるべきで、子の不安を思うと踏み切れません。また、受け入れには看護師を雇わなければならないので、確保が難しいです。

鳥取県保育所受入時期一覧表

鳥取市

月齢	57日目	4ヶ月	6ヶ月	1歳	合計
園の数	18	26	2	2	48

東部その他の町

月齢	3ヶ月	6ヶ月	3歳	合計
園の数	1	15	2	18

倉吉市

月齢	57日目	4ヶ月	合計
園の数	25	1	26

中部その他の町

月齢	57日目	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	合計
園の数	12	3	5	8	28

米子市

月齢	6週	3ヶ月	6ヶ月	1歳	2歳	合計
園の数	16	1	1	22	2	42

境港市

月齢	57日目	6ヶ月	1歳	3歳	合計
園の数	5	1	4	1	11

西部その他の町（日野町は、6ヶ月より受入）

月齢	3ヶ月	6ヶ月	1歳	合計
園の数	2	9	13	24

出典 平成24年9月改定 とっとり子育て応援ガイドブック



おひさま広場

ホームページの充実

答 今年度に改善



松原 直人 議員

議員 町の施策等の情報提供は町報ですが、ホームページは町民・若者及び町外に向けた大切な情報発信です。他の町村と比べて各課の情報発信も見劣りします。改善しませんか。



日野町ホームページ

町長 ホームページにつきましては、見づらい、必要な情報が見つかりにくいなど、近隣自治体と比較してもシステムが古く、入力しづらいようです。使用しているソフトウェアが古くなり、今年度更新するよう予算計上しています。更新するにあたり業者選定の際には、操作研修や操作性についても考慮し、セキュリティ、汎用性についても向上させます。

当初予算概要の説明書作成を

議員 予算の情報公開として、懇切丁寧な当初予算概要の説明書を作成し、町民の皆様を知っていただくことが大切ではありませんか。

町長 当初予算概要説明書については、基本的に議会対応の説明書であると認識しています。町民向けは町広報や議会だよりにわかりやすく掲載しています。

鳥根県川本町は当初予算概要説明書(100ページ)

議員 鳥根県川本町は当初予算概要説明書(100ページ)で個別の政策をわかりやすく写真も入れ説明され、ホームページでも発信されています。日野町をもっと知り、知っていただくためにも必要ではありませんか。

町長 以前、川本町の樋口町長に会いに行き意見交換をしたことがあり、そのおり、概要説明書をいただきました。日野町が、どうゆう方向に向かっているか説明する、予算概要書を前向きに検討してみたいと思います。



砂防工事 (歴史民俗資料館上)

建設業について

議員 除雪作業、風水害、土石流等、災害時には建設業者の協力を必要とします。町では業者も少なくなり、対策が必要ではありませんか。

町長 除雪では、町内外の業者や地元の有資格者の方をお願いし万全を期しています。災害における応急工事や災害復旧については、被災規模にもよりますが、まずは日野町建設協会にお願いし、甚大な災害については鳥取県に支援をいただきます。



佐々木 求 議員

TPP参加は地域を滅ぼす

答 繰り返し反対を主張



育苗センター

議員 小さな自治体がひっくり返ってしまう問題がTPPです。世界の競争にさらされ、農業はいうまでもなく、皆保険制度等崩れたら、収入が国民年金だけの方は病院にも行けなくなります。患者が減少すれば病院も維持できなくなります。介護保険施設は安い労働力に変えられ、地元の若者が働く条件がますます厳しくなります。選挙公約にも反した流れを、地方も全力で阻止しないと大変なことになります。この流れが地方を滅ぼすこととなります。

対を訴える時ではありませんか。
町長 全国町村会931町村は、地域経済、社会の崩壊を招くとして反対の特別決議を行っています。農業生産の縮小は地域経済を一層冷え込ませ、地方のさらなる疲弊につながります。農業、農村は食だけでなく、国土の保全や水源の涵養等多面的機能を持っており、住民生活にも多大な影響を及ぼします。痛い思いもあります。林業の関税撤廃です。豊かな日野の地が一変しました。3月15日付で、全国町村会長は、政府は日米共同声明を踏まえ、交渉への参加を表明

したが、農林漁業だけでなく、地域経済、社会の崩壊を招くTPP参加には絶対に反対、と繰り返し主張してきた我々の意見を全く無視したものであり、きわめて遺憾である。としています。私も同じ思いです。

防災計画について

議員 地域防災計画の策定が2年目となり、災害対策編、原子力災害対策編を作成するとしています。災害対策編では、防火水槽の設置、防災無線の更新、消防ホース等の補助制度を設けるとしています。具体的な進め方や日程を伺います。原子力災害対策編は、いつ作製されるのか。基準をどう考えていますか。原子力災害の対策は国や県でおこなうべ



日野町消防団出初め式

きものではないですか。
町長 11月頃には原案を議会にも提出できるようにしたい。原子力規制委員会は30キロ外については現在検討中であり、町の対策は、関係市町村への支援、非難所などの開設、等です。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介します。

議会だより「写真の部」 鳥取県一を受賞

日野町農産物加工所「大夢多夢」は、平成16年に開所し、平成21年6月には、企業組合として現在に至っています。餅を主体とした事業です。年末ともなると、町内外から正月餅をつきに来られて、朝早くからにぎやかな杵の音が、夜遅くまで止むことはありません。

せん。

時代の流れでしょうか。最近では家で餅をつく人が少なくなっており、大夢多夢を利用される人が増えています。又年末には、朝市グループのふるさと便に加えてもらって、ふるりの味を関東、関西方面にもお届けしています。

大夢多夢のみなさん



町内はもとより、日吉津アスパルにも、出しています。お母さんのシールを目当てに、遠くから買いに来てくださるお客さんもあります。町内のイベントにも、必ず参加して、にぎやかに盛り上げています。

私たちの仲間は、和を一番に、楽しく作業が出来るよう、絆を大切に、頑張っています。今後の目標は、日野町の新しい特産品づくりで、現在は試作品づくりに頑張っているところです。

大夢多夢 筆

鳥取県町村議会広報紙コンクールにおいて、日野町議会だより93号の表紙が、写真の部で最優秀賞を受賞しました。認定農業者で、ハウレンソウのハウス周年栽培に取り組んでおられる、家族の温かくほほえましい農作業風景が評価されたと思っています。

議会だよりの編集について、内容もかたい表現を極力避け、「見出しは大きく、写真も大きく、活字は少なく」を念頭に広報紙づくりに取り組んでいるなかでの受賞でした。この受賞を励みに、今後一

自治功労者表彰受賞

平成25年自治功労者表彰式が行われ、日野町議会から、3名の議員が受賞されました。それぞれの議員は、長きにわたり町村議会の運営並びに、地方自治の振興発展に寄与された功績に対しての受賞です。



受賞した議会だより93号の表紙写真

層の読みやすい、親しんでいただける議会だよりを目指して頑張る所存です。皆様の叱咤激励の声を届けてください。

鳥取県町村議会議長会表彰

・議長在職10年以上

・町村議会議員在職25年以上

・町村議会議員在職21年以上

・町村議会議員在職15年以上

・全国町村議会議長会表彰

・町村議会議員在職15年以上

・町村議会議員在職15年以上

・町村議会議員在職15年以上

・町村議会議員在職15年以上

あとがき

一週間以上も早く桜花爛漫を迎えました。学校では入学式、農家では春作業が始まり、忙しくなりますが、お体を大切にしてお励みください。

さて、安倍政権の「アベノミクス」の政策が功を奏して、金融関係や自動車などの輸出関連産業は景気が上向きつつあるようですが、本町では環太平洋連携協定(TPP)参加の成行きが心配です。中小企業、農林業を何としても守り育成しなければなりません。

議員は町民の代表として、行政をチェックすると共に、皆様の声を議会に届ける役目を担っています。議会として広聴活動が不十分であったことを反省し、「出かける議会」に力を入れ、議会だよりの充実と併せ、職責を果たしていきたいと思えます。

議会広報調査特別委員会

委員長 小谷 博徳

副委員長 安達 幸博

佐々木 求

松原 直人

松本 利秋

松本利秋